

上野地区のまちづくりの 進捗状況について

① 上野版エリアプラットフォーム検討

※上野版エリアプラットフォーム検討に関する内容は、令和7年1月29日時点のものであり、今後変更となる場合があります。

■ターゲット10+の設定 各空間のあり方の検討

・公共空間等の魅力向上が地区の魅力向上につながるという仮説を設定し、上野版T10+を作成

・T10+の空間特性の整理及び活用ルールの見直し等を図った



■情報一元化に向けた検討

・令和4年度の杜まちにおける各取組を整理し見える化した
・まち部会において、杜まちの各取組を見える化・共有するツールが必要なことを共有した

▲杜まち連携カレンダー(令和4年度実績)

■まちづくり活動の 進捗管理・共有

・公共空間等において、様々な活動が展開されている
・活動の活発化・効果的な推進に向け、人材・資金・ノウハウに係る課題が顕在化している



▲中央通り・上野広小路ヒロバ化実験(令和5年度)

まちづくりにおける課題

注力すべき公共空間の抽出・在り方検討の議論が進むものの、**検討の深度化や事業の更なる推進が課題**

杜とまちの連携可能性を示すツールの作成に至ったものの、**作成主体者、継続的な作成や管理、実効性確保が課題**

まちづくり活動の情報共有の場として機能しているものの、**新たな事業の企画立案や推進などの実行力が課題**

これからのまちづくりに求められる組織の役割

まち部会としての課題

検討の深度化・事業推進力
継続力・実効性の確保
新たな企画の立案

×

上野の現状

新たな事業の萌芽
新たな担い手の出現

活動が萌芽する上野のまちづくり活動を**応援・支援**する**実効力**のある組織

官民連携による

わっしょい！社まち応援団

➤ 官民(公民学※)連携でまちづくりを推進する上野ならではのエリアプラットフォーム

※学との連携は今後の検討対象とする

目標：上野の将来像 (目指すべき状態) **の実現**
(R7度以降にWSをとおして設定)



手段：杜まち連携や
ウォーカブルまちづくりに資する取組

活動が萌芽する上野の担い手 (まち部会メンバー+杜まちで活動するまちづくりの担い手)

杜・まちにおける困りごとの一例

・継続的なまちづくり活動における原資

・一元的な情報発信媒体がない

・まちづくりをする上でのノウハウがない

・行政手続きの煩雑さ

杜まち応援団を通じて、

まちづくりにおける困りごとの支援

官民連携による

わっしょい！杜まち応援団

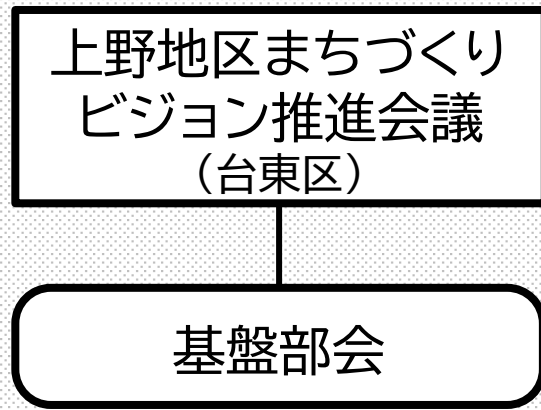


① 上野版エリアプラットフォーム検討

※上野版エリアプラットフォーム検討に関する内容は、令和7年1月29日時点のものであり、今後変更となる場合があります。

上野版エリアプラットフォームの位置づけ

上野地区まちづくりの進捗管理



- ・杜まち連携の推進
- ・エリアマネジメントの推進
- ・まちづくりの情報共有
- ・公共施設管理者との情報共有

官主体 ← ○ → 官民連携主体

情報共有

助言等

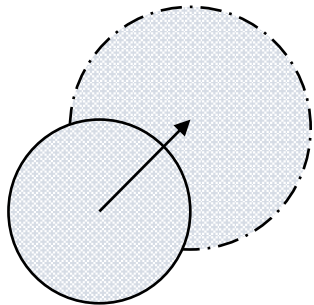
まちづくりの実行・実行支援等



- ・まちづくりの担い手を中心に組成
- ・まちづくりの柱となりうる「上野エリア戦略」を策定
- ・「上野エリア戦略」に合致した活動に対して、資金、ノウハウ等の支援・共有を実施

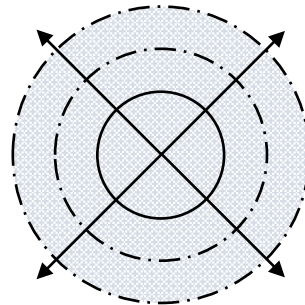
基本的な考え方

ミニマムスタート



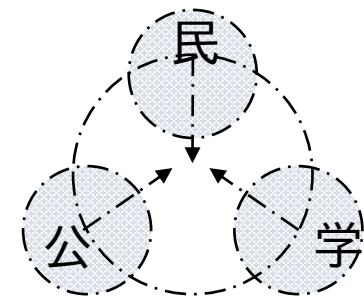
設立時は、現在の杜まちの取組状況に基づき、先行して実行するプロジェクトやメンバーを検討する

だんだん広がる



先行して実行するプロジェクトの効果の実感を通じて、段階的にメンバーを増やす。また、まちづくりの段階に合わせて規約及び体制を見直すことができる柔軟な組織とする

無理なく続ける



公民学*が連携・意見交換しながら、無理なく継続して活動することができるシステムを目指す

※学との連携は今後の検討対象とする

① 上野版エリアプラットフォーム検討

※上野版エリアプラットフォーム検討に関する内容は、令和7年1月29日時点のものであり、今後変更となる場合があります。

官民連携による

杜まち応援団の活動イメージ

3～5年程度

Phase1

Phase2

上野エリアのまちづくりの担い手を応援！

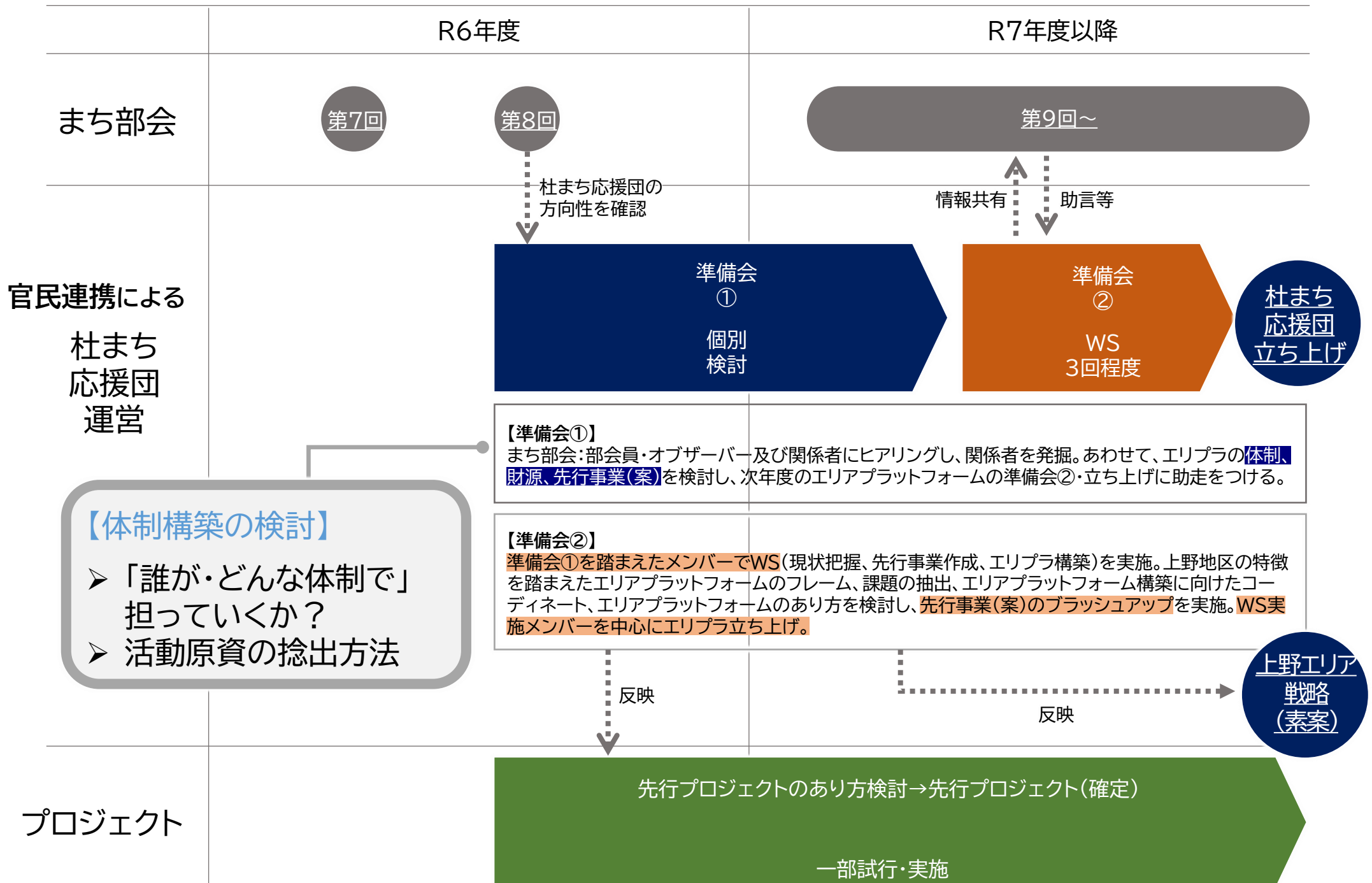
- 上野の**既存の担い手に対する支援**からスタート
- まだ見えていない新たな担い手の発掘・支援も実施
- Phase1では杜まち応援団としての実績を重ねる
- その中で**上野らしいまちづくり活動の方向性を整理・明示**

上野の外の担い手も応援！

- 上野外の担い手に対しても応援**を開始
- 方向感を提示・共有した上で、**上野のまちに望ましいチャレンジ**を応援

① 上野版エリアプラットフォーム検討

※上野版エリアプラットフォーム検討に関する内容は、令和7年1月29日時点のものであり、今後変更となる場合があります。



② ワーキンググループUENO Bridgeの活動状況

2024年度 まち部会WG

- 2022年度に設立した「まちづくり推進部会ワーキンググループ“UENO BRIDGE(以下、UB)”」は、今年度よりサロン形式でそれぞれの取り組みの共有や、上野で展開したいアクションアイデアに関して議論を行っている。それにより、具体的な取組アイデアや具体のアクションがみられるようになった。

■まち部会WGの開催状況

第9回

日時：2024年6月5日(水)
場所：日建設計本社ビル
PYNT



第10回

日時：2024年8月19日(月)
場所：BAZUCHIKA



第11回

日時：2024年10月7日(月)
場所：東京藝術大学
赤レンガ一号館



第12回

日時：2024年12月16日(月)
場所：BAZUCHIKA

■参加プレイヤー 一覧 (敬称略)

いとう たつや 伊藤 達矢	東京藝術大学社会連携センター 教授 とびらプロジェクト
おかべ たかひろ 岡部 隆宏	上野文化の杜新構想実行委員会 事務局長
さくらい まさと 桜井 正人	上野中央通り商店会会長 御徒町駅広場周辺地区まちづくり協議会 理事 藝を育むまち同好会
たなか ゆう 田中 勇	株式会社セレナ ジュエリータウンおかちまち 藝を育むまち同好会
ま やくげん 馬 躍原	株式会社多慶屋 マーケティング部 藝を育むまち同好会
まえかわ ひろみ 前川 弘美	長岡商事株式会社 代表取締役社長 (下町バルながおか屋、シノバズブルワリーほか) 藝を育むまち同好会、しのばずいけまち研究会
まめ さわこ 馬目 佐和子	ジュエリデザイナー Acute Accent 東京藝大卒業・修了、台東デザイナーズビレッジ
もりしげ しんご 森重 伸悟	上野ユーワンビル 五條天神社 上野 元黒門町々会青年部部長 しのばずいけまち研究会
やまざき さとし 山崎 聡	アメ横コミュニティ株式会社 代表取締役

② ワーキンググループUENO Bridgeの活動状況

■まち部会WGの開催状況

・各回の議論概要

第9回

- UBメンバーによる情報共有と意見交換(新世代会議、Furariの活用、ジュエリーイベント等)
- 「仮称:パンダパレード」に関するアイデアの共有・議論

第10回

- UBメンバーによる情報共有と意見交換(Furariの活用状況、奥上野社会実験での俳句会、多慶屋での取り組みと今後の展望等)

第11回

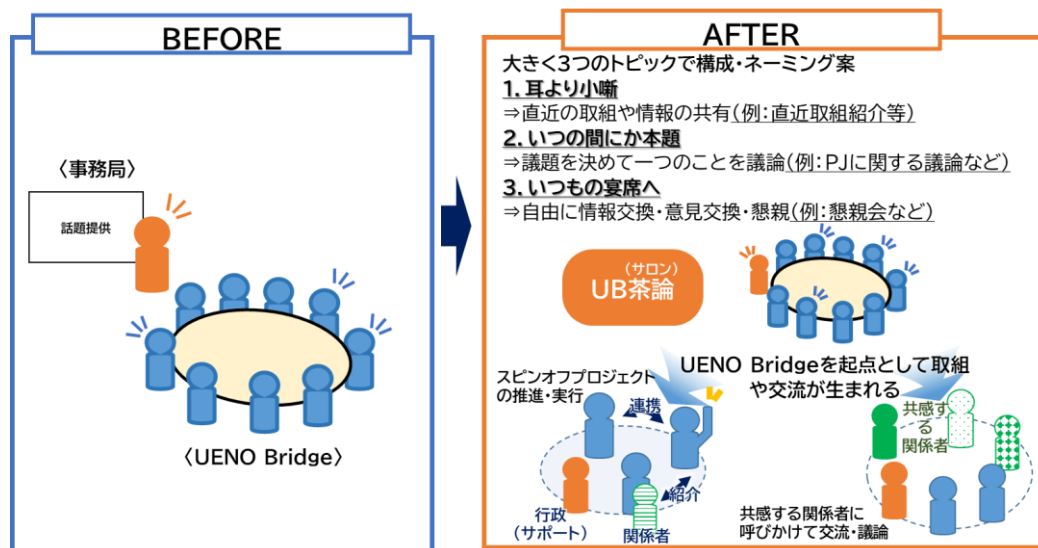
- UBメンバーによる情報共有と意見交換(奥上野社会実験の結果報告、ジュエリータウンガイドツアー、Furariの活用状況、多慶屋前区道社会実験に向けた進捗状況)
- 仮称:パンダパレードに関する企画書の深度化

第12回

- UBメンバーによる情報共有と意見交換(10月の社会実験(シタマチ、ハロウィン、不忍池ブックカフェ、Peace of Light、ヒロバ化社会実験))
- 仮称:パンダパレードに関する企画書の深度化

・開催形式の変更

事務局が話題提供する形式からサロン形式へ変更し、メンバーそれぞれの考えや思いの共有が活発化



・アクションアイデアに関する議論の展開

それぞれが感じる社会課題を共通の関心事として、具体的な取組アイデアや具体のアクションがみられるようになった



② ワーキンググループUENO Bridgeの活動状況

■プロジェクト例:「上野パンダパレード」

- 上野の新しいアートのあり方や杜まち回遊を目的として、パンダをモチーフとしたパブリックアートを設置する
- 全国から公募したデザインの中から優秀な作品を上野エリアの至る所に設置する
- 共感者・賛同者を集めるために、アイデアを伝える企画書をUENO Bridge で作成する

UBの場で企画書の深度化を実施中

Step①

企画・構想の言語化⇒認識の整理、企画案の深度化

Step②

多くの人に対して企画を説明⇒共感の輪を広げる

Step③

スモールスタート⇒手の届く範囲での活動実績作り

Step④

実行力のある推進主体に企画を持ち込む
⇒本格的に企画を進めるために協力を仰ぐ

企画の検討イメージ



街にパンダのアートが設置されたイメージ

③ 杜まちデジタルスタンプラリー“furari”

■ueno杜まちふらりデジタルスタンプラリー(2024/5~2025/3)

- まちの事業者を中心に構成された「ueno杜まちふらり実行委員会」による取組。上野で既に実施されているイベント等をスタンプラリーに落とし込み、利用者はスタンプを集めながら杜とまちを回遊しながら上野エリア全体の魅力を体験してもらう。
- 各デジタルスタンプラリーにクーポン等の特典を設けることで、まちの飲食店舗での利用[まちへの回遊]やスタンプラリーのリピート利用[ファンづくり]の促進を図っている。また、アプリのプッシュ通知により来街頻度の向上も狙っている。
- アプリの利用登録より、利用者データ[年齢、性別ほか]や利用者動向データ及びアンケート機能[回遊動向、利用理由ほか]を活用し、上野オリジナルのビッグデータの収集に繋げる。

-上野オリジナルのビッグデータ- (年齢、性別、クーポン利用数(来店人数)など)



2024年5月/979名

上野ミュージアムウィーク
2024~国際博物館の日~
デジタルスタンプラリー



2024年7月/1509名

うえの夏まつりクイズ
スタンプラリー



2024年8月/429名

ウエノデ、パンダビアフェスタ
2024「シャジャンに乾杯!」
スタンプラリー



2024年9月/357名

『奥上野』俳句ハイキング
2024秋



2024年9月/436名

ウエノデ、パンダ中秋節
2024スタンプラリー



2024年10月/286名

『Peace of Light(ピース
オブライト)スタンプラリー



2024年10月/888名

シタマチ、ハロウィン
2024スタンプラリー



2024年10月/376名

秋の上野をめぐる8日間
上野広小路ヒロバ化社会実験



2024年12月/572名

UENOクリスマスマーケット
スタンプラリー



2025年1月/447名

必勝合格祈願デジタルスタン
プラリー



2025年2月-3月

UMEMACHI
湯島名店巡り

※開催月/参加者

③ 杜まちデジタルスタンプラリー“furari”

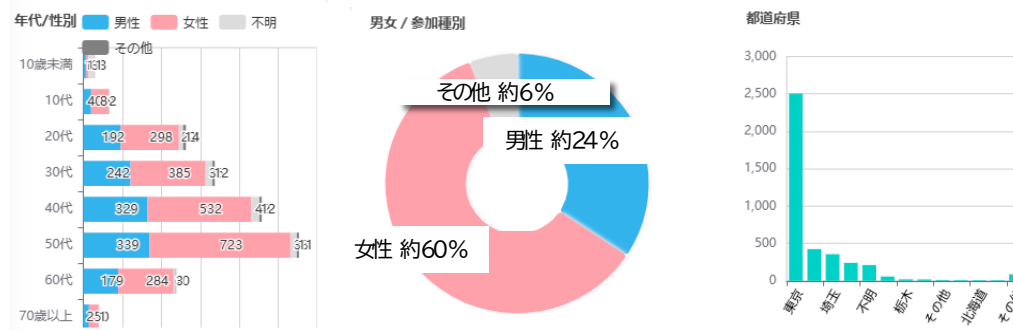
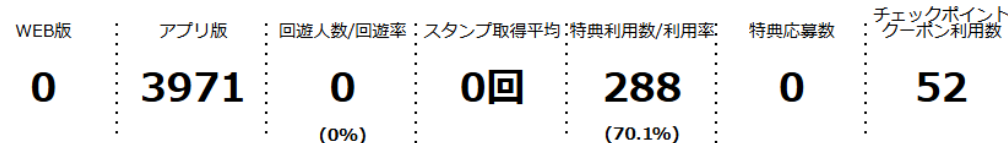
■取組の一例:UENO杜まちふらり

取組を通して、杜の文化施設とまちの飲食店舗等が連携。

アプリ機能やアンケート機能を用いて利用者データの分析を実施。



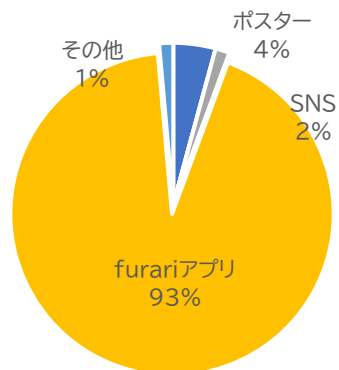
ラリー参加人数総計：3971人



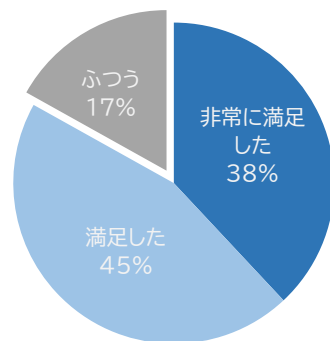
UENO杜まちスタンプラリーのアンケート結果

UENO杜まちスタンプラリーについて

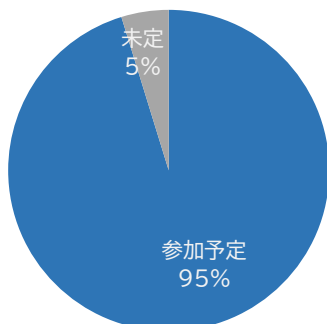
スタンプラリーを何から知ったか



スタンプラリーの満足度

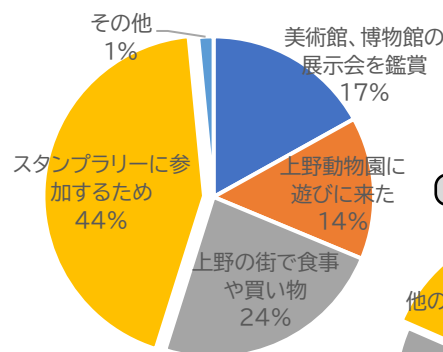


同じ企画の参加意向

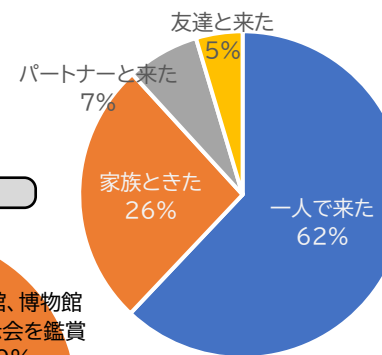


来街者属性等について

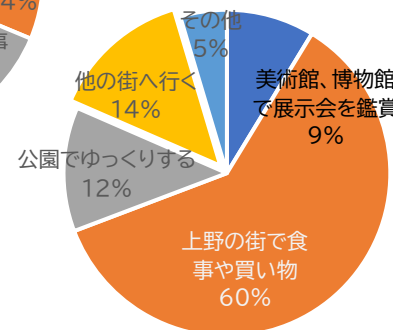
上野に来た目的



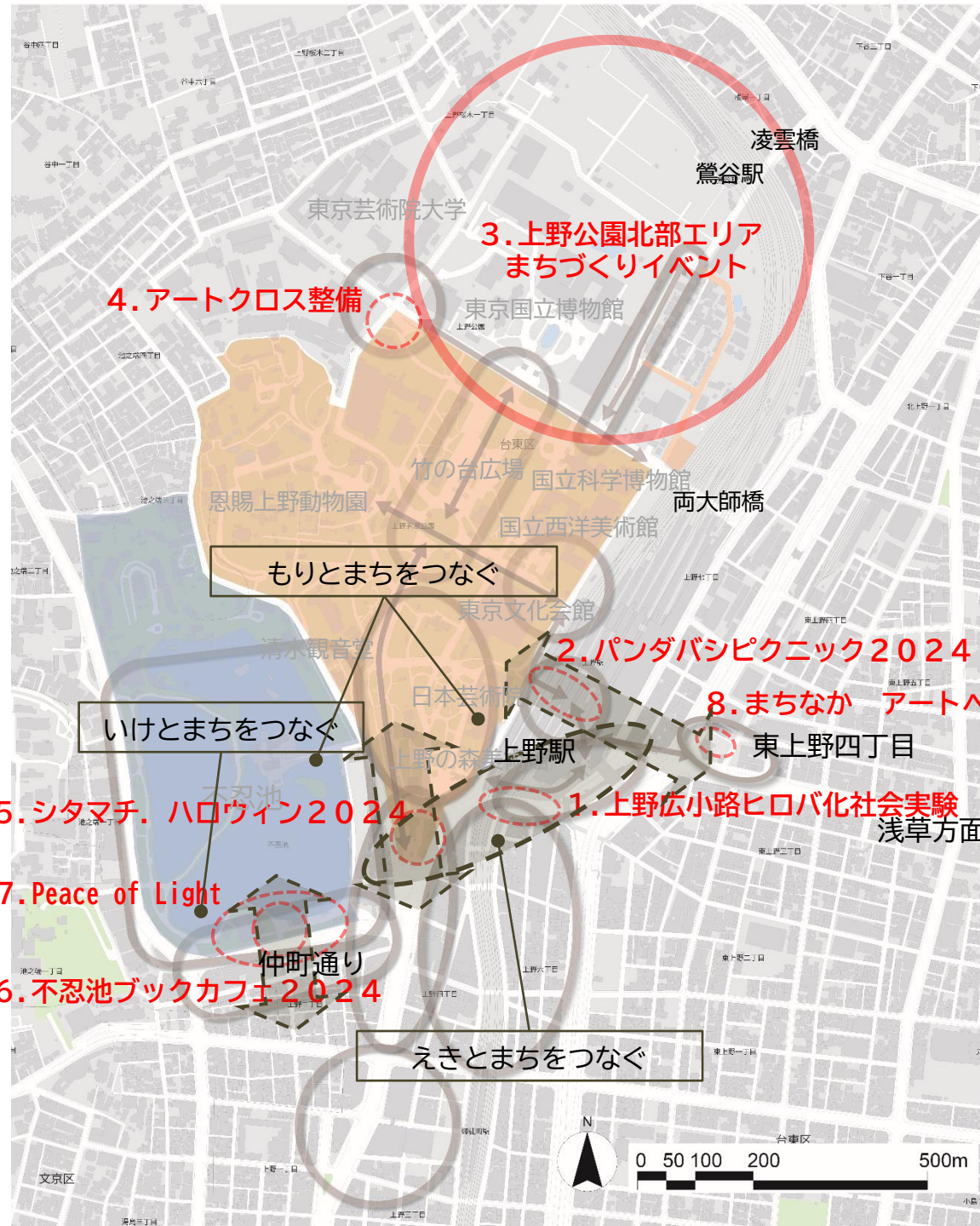
同行者はだれか



今後の予定



④ 上野ウォーカーブルまちづくりに係る取組



杜とまちの回遊を生み出す ターゲット10+

- ターゲット10+は、魅力的な居場所を複数“創り”つなげるエリア戦略
- 上野駅周辺の杜・まちの回遊性向上に向けて、特に注力して魅力化すべきスポットとネットワークを抽出
- まちづくり活動に応じてターゲット10+の場所を増やす

➔「アートペイント」を踏まえ、東上野四丁目地区周辺を追加

- 主な短期施策**
1. 中央通り社会実験
 2. パンダ橋活用実験
 3. 上野公園北部エリア
 4. アートクロス整備

- (Red dashed circle) ...2024年度直近の活動
- (Grey circle) ...2024年度版「ターゲット10+」
- (Orange area) ...上野公園エリア

上野がめざす人中心の公共空間 「上野広小路ヒロバ化計画」

「上野広小路ヒロバ化計画」とは
上野まちづくり協議会が考える
上野広小路が持つ歴史的、位置的、構造的、
精神的な象徴性を再構築しながら、
まちづくりの課題解決と新たな価値創造を
めざすプロジェクト



「上野公園から木々を楽しみながら降りてくると、いつの間にか街中にあるような緑の道」のイメージ

④ 上野ウォーカーブルまちづくりに係る取組

短期施策1. 上野広小路ヒロバ化社会実験



2023年11月26日(日) 12:30-15:30

※イベント実施時間。設営・撤収を含む交通規制時間は11:45-16:00

中央通り※および上野恩賜公園(袴腰広場)
※京成上野駅前

中央通り・袴腰広場を
「杜とまちの回遊性向上」の懸け橋とする



日時

2024年10月27日(日) 14:00-20:00

※イベント実施時間。設営・撤収を含む交通規制時間は12:00-21:00

場所

中央通り(JR上野駅広小路口前・不忍口前)

目的

中央通り・JR上野駅前を
「えきとまちの回遊性向上」の懸け橋とする

④ 上野ウォーカーブルまちづくりに係る取組

短期施策1. 上野広小路ヒロバ化社会実験

■ 概要

本社会実験の位置づけとしては、歩行者利便増進道路(ほこみち)の可能性を見据えた、歩行者空間(歩道+車道)の活用実験

道路空間を「歩きたくなる」「居たくなる」歩行者空間とすることで、JR上野駅及びまち側からの南北のスムーズな流れと、マーケット等のコンテンツの影響による東西方向への流れも確認できた。

道路上でのコンテンツはアメ横商店街連合会、上野六丁目商店街連合会、上野マルイ等の地域で活動する方々と連携し、マーケットの開催、アメ横ツアー、音楽演奏などを実施。

- 主催: 上野まちづくり協議会
- 共催: 台東区
- 協力: 上野観光連盟、上野中央通り商店会、東京都、上野文化の杜新構想実行委員会、JR東日本、東京メトロ、京成電鉄、筑波大学五十嵐泰正研究室、三菱地所、大丸有エリアマネジメント協議会、アメ横商店街連合会、上野六丁目商店街連合会、上野マルイ

■ 交通量調査結果

調査日

平常時調査: 令和6年11月10日(日) 曇り
 実験時調査: 令和6年10月27日(日) 曇り

調査結果

- 自動車交通に係る大きな問題は発生しなかった。
 - ✓ 春日通りと昭和通りの交差点部分で平時と比較し交通量増加、それ以外は平時以下
 - ✓ 交差点における需要率、混雑度ともに交通量の処理が可能



Food & Craft		
1 uenoまぢふらり	8 本部	20 上野案内所
11 KC Kinetica	11 優悠堂	21 上野ウルトラ集団
2 M&Y	12 「江戸食文化」伊勢音	22 23 24 25 26 藝育会
3 横濱帽子屋	13 持丸水産	27 GAP
4 アルバカーキ	14 天天鮮果	28 多慶屋
5 Fit's & FRESH	15 KOKONA上野店	29 肉の大山
6 ONE LOVE	16 Berrymoon	30 花神楽バンド焼き
7 伊勢屋	17 Coffee by Jalana	31 ゴクゴク
8 フットモンキー	18 アンクルジュー	32 ヤナカコーヒー
9 行々子	19 SKY	33 オスカーケバブ
10 土産屋MARUMI		34 黒工号

Performance Stage

- 14:00-14:40 東京ウルトラ集団
- 14:40-15:00 「糸」パフォーマンス
- 15:00-15:40 山崎マイカ
- 15:40-16:20 慈光
- 16:20-17:00 Passo a Passo
- 17:00-17:30 「糸」パフォーマンス
- 17:30-18:00 東京ウルトラ集団
- 18:00-20:00 清し
- 20:00-20:30 ウツサのはるみ
- 20:30-21:00 グランマもかこ

AMEYOKO Wonder Tour 計30店からご出店

「アメ横ワンダーツアー」も開催します
 14:00 15:00 18:00 の3回開催 | 参加費無料 | 所要時間30分程度 | 申込みについては本部プリントまで



■ 当日の様子



実験時の中央通りの全景



滞留空間の様子



地元の飲食店舗等が軒を連ねたテント群



上野6丁目との連続性



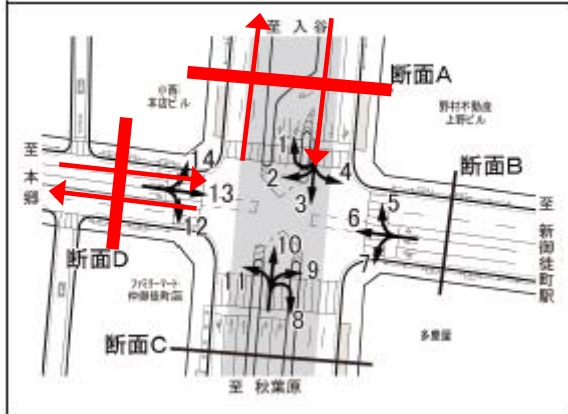
アメ横ツアー



夜間の音楽演奏時の様子

【参考】地点4(春日通りと昭和通りの交差点)の交通量について

地点4(春日通りと昭和通りの交差点)



【平常時 R3全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査結果 断面A+断面D】

昼間12時間交通量(7:00~19:00):46,646台

R3平時の68%程度

【社会実験時 R6交差点合計】

昼間12時間交通量(24/10/27 7:00~19:00※):31,903台

※ 7:00~12:00 交通規制無し
12:00~19:00 交通規制有り

【詳細】

(断面A)

日程	台数	備考
【平時】 R3全国道路・街路交通情勢調査 昼間12時間(7:00~19:00)	31,580台[推計]	
【社会実験時】 24/10/27(日) 昼間12時間(7:00~19:00)	20,431台[実測]	平時×約64%

(断面D)

日程	台数	備考
【平時】 R3全国道路・街路交通情勢調査 昼間12時間(7:00~19:00)	15,066台[実測]	
【社会実験時】 24/10/27(日) 昼間12時間(7:00~19:00)	11,472台[実測]	平時×約76%

上野広小路ヒロバ化社会実験における自動車交通量調査

自動車交通量調査【交差点需要率】

交差点需要率
(需要率 ≤ 上限値)

■ 上段は平常時(11/10(日)実施)
■ 下段は実験時(10/27(日)実施)

平常時及び実験時ともに交差点需要率は
上限値以下であり、交通量の処理が可能

0.287 ≤ 0.563
0.150 ≤ 0.493

0.287 ≤ 0.873
0.248 ≤ 0.493



0.243 ≤ 0.909
0.413 ≤ 0.908

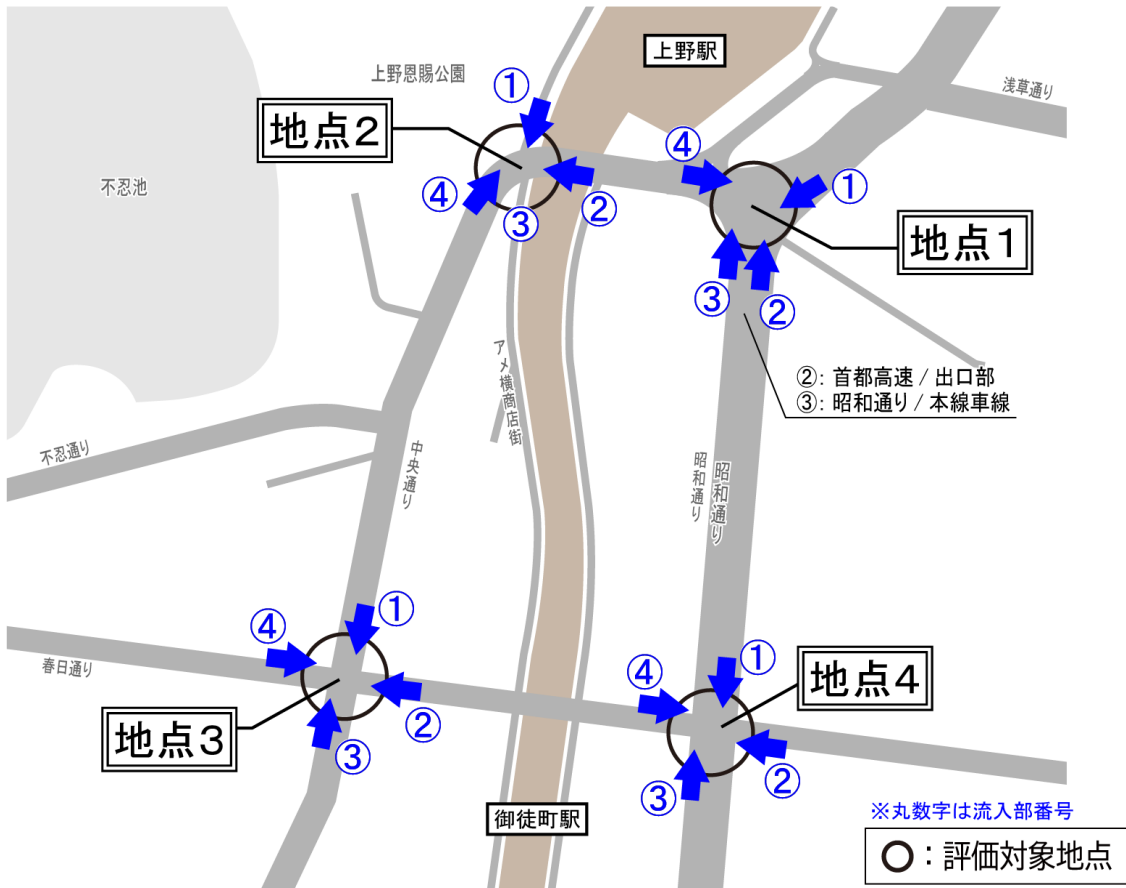
0.311 ≤ 0.891
0.349 ≤ 0.893

図： 交差点需要率(信号交差点 地点1～4)

上野広小路ヒロバ化社会実験における自動車交通量調査

自動車交通量調査【車線別混雑度】

平常時及び実験時ともに各車線において上限値(混雑度 ≤ 1)以下であり、交通量の処理が可能



図： 交差点需要率(信号交差点 地点1～4)

■ 平常時(令和6年11月10日調査)

調査地点	流入部	車線構成	車線数	車線別混雑度(交通容量比)	
1	①	直進	3	0.316	
		右折	1	0.317	
	②	左折・直進	1	0.444	
		直進	1	-	
	③	左折	2	0.095	
		直進	3	0.342	
	④	直進	3	0.299	
	2	①	左折・右折	1	0.608
		②	直進	3	0.348
			右折	1	0.273
		③	(流出のみ)	-	-
		④	左折・直進	1	0.528
直進			1	-	
3		①	左折・直進	1	0.236
			直進	2	0.285
	右折		1	0.309	
	②	左折・直進	1	0.129	
		直進	2	0.060	
		右折	1	0.332	
	③	左折・直進	1	0.332	
		直進	1	-	
		右折	1	-	
	4	①	左折・直進	1	0.331
			直進	2	0.140
			右折	2	0.243
②		左折・直進	1	0.133	
		直進	1	0.463	
		右折	2	0.218	
③		左折・直進	1	0.331	
		直進	1	0.162	
		右折	1	-	

■ 実験時(令和6年10月27日調査)

調査地点	流入部	車線構成	車線数	車線別混雑度(交通容量比)	
1	①	(流出のみ)	-	-	
		-	-	-	
	②	左折・直進	1	0.497	
	③	左折	1	0.187	
直進		3	0.505		
④	(流出のみ)	-	-		
2	①	右折	1	0.315	
	②	(流出のみ)	-	-	
	③	(流出のみ)	-	-	
	④	左折	1	0.295	
-		-	-		
3	①	左折・直進	1	0.151	
		直進	2	0.121	
		右折	1	0.413	
	②	左折・直進	1	0.358	
		直進	1	0.075	
		-	-	-	
	③	左折・直進	1	0.602	
		-	-	-	
	4	①	左折・直進	1	0.348
			直進	2	0.281
			右折	2	0.287
		②	左折・直進	1	0.180
直進			1	0.432	
右折			2	0.207	
③		左折・直進	1	0.461	
		直進	1	0.129	
		右折	1	-	

*ハッチは実験に伴う規制箇所(車線構成の変更など)を示す

主催:上野まちづくり協議会

ヒロバ化社会実験2025 計画案



次回(3年目)の範囲、規模等は今後検討



3か年の振り返りを行い、
今後の将来像の検討

④ 上野ウォーカブルまちづくりに係る取組

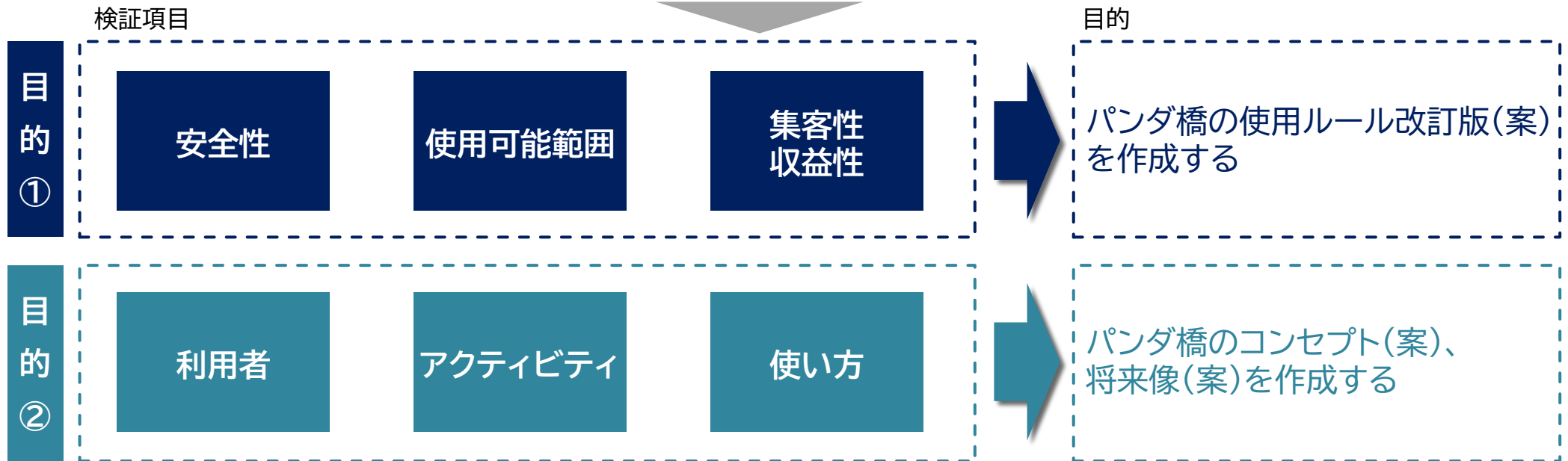
短期施策2. パンダ橋活用実験

1回目:令和4年12月 2回目:令和5年3月 3回目:令和5年10月 4回目:令和6年3月 5回目:令和6年10月

パンダ橋の位置づけ

みんなの広小路:杜とまちを重ね、つなげるエリアの取組み

ウォーカブル施策:上野恩賜公園とその周辺区域の回遊性を高め、広域連携の向上を図る取組み



※ 実証実験は、取組み過程における人的ネットワークの形成や関係各所への情報共有などに留意しながら進める

※ 実証実験では、取組み内容の検証+フィードバックを繰り返す

目指したい状況・状態

パンダ橋を認知してもらい、多くの人が利用し、様々な利活用を行う状況・状態

将来像の実現

みんなの広小路として活用したくなる拠点の創出・杜とまちの回遊性の向上

④ 上野ウォーカーブルまちづくりに係る取組

短期施策2. パンダ橋活用実験

パンダバシピクニック2024 Autumn

令和6年10月26日(土)～10月27日(日)
土:12:00～19:00、日:12:00～18:00

主 催:東日本旅客鉄道株式会社

共 催:台東区/株式会社JR東日本クロスステーション

協 力:株式会社JR東日本スポーツ(ジェクサー フィットネス&スパ上野)/株式会社
ジェイアール東日本都市開発(キャンプ練習場 campass)/岩倉高等学校

上野のエキ・マチ・モリを結ぶ東西自由通路「パンダ橋」において、「モリとマチとエキがつながるのんびり空間」をテーマに開催された。

- 地元台東区のクラフトビール等アルコールを含むドリンク・フードの提供
- オリジナル時計作りアートワークショップ及びトレインシミュレータ&車内きっぷ発券体験の提供
- 岩倉高校ダンス部Burstによるダンスパフォーマンスの上演、フィットネス体験イベントやテーブル・椅子等のキャンプグッズの展示・体験イベント
- マルシェ形式の取組を計3回実施。今後は、実施頻度の向上・認知度の向上を目指した仕組み・取組を検討



物品販売



地元高校のダンス部のステージ発表



居心地の良い滞留空間



夜間の活用の様子

④ 上野ウォーカーブルまちづくりに係る取組

上野公園北部エリアまちづくりイベント おくうえの「つながる・ひらく・はじまる」

令和6年9月6日(金)・9月7日(土)
各日9:00~21:00

上野公園北部エリアの豊富な資源を最大限活用して回遊を促進することでエリアの魅力・価値の更なる向上に繋げることを意図して実施した。

- いつもと違う方法での施設活用: 寛永寺開山堂にて開催された「写経×てらかふえ」・座禅体験、奥上野・東博内九条館で行われた吟行・俳句会など
- おくうえエリア施設の連携: 上野アートクロスまちあるきツアー、東京国立博物館の開門、日没~21時までの一斉ライトアップなど
- パブリックスペース等の活用: 道路上での藝祭神輿パレードや開山堂周辺にキッチンカー、mobiArtの展示など
- 今後は、北部エリアの施設・機関と意見交換を重ねながら、まちづくりの方向性を検討する

短期施策3. 上野公園北部エリア

主催:台東区

共催:上野中学校/京成電鉄株式会社/国立国会図書館国際子ども図書館/忍岡中学校/新世代上野文化の杜ビジョン会議/東叡山寛永寺/東京藝術大学/東京国立博物館/東日本旅客鉄道会社(東京感動線)

協力:藝祭実行委員会/mobiArtプロジェクト/藝を育むまち同好会/株式会社Mellow/合資会社 うさぎや/ueno杜まちふらり実行委員会



いつもと違う方法での施設活用:



九条館(俳句会)



上野桜木会館
(アオゾラガッコウ)



寛永寺開山堂
(写経体験)

おくうえのエリア施設の連携:



一斉ライトアップ



~上野アートクロスまちあるきツアー~



東博黒門開門

都道452号線及び区道62号に、藝祭御輿展示・パレード、キッチンカー、mobiArt(移動式アート展示)等の様々な取組を通して、賑わいの創出や居場所づくりが試行された。



都道452号線 歩行者専用化



都道452号線 藝祭御輿展示



区道62号線 キッチンカー、休憩場所



区道62号線 mobiArt
(移動式アート展示)

④ 上野ウォーカーブルまちづくりに係る取組

短期施策3. 上野公園北部エリア

国内外から多くの観光客が訪れる観光地であることや少子高齢化が進んでいることから、交通に関する多様なニーズへの対応が求められている。このため、区民や来街者の交通利便性の向上に向け、グリーンスローモビリティ等の導入など、新たな交通手段の検討を行っている。この一環として、前年度に実施した基礎調査や試乗体験等の効果をふまえた実証実験等を実施し、事業性等の検証及び実装に向けた検討を、上野エリア及び谷中エリアにて実施した。

二次交通実証実験

令和6年9月4日(水)～15日(日) 各日11:00～16:00

※6日(金)から8日(日)は、上野公園及びその周辺の他イベントとの調整により、一部、運行ルート及び時刻表を変更して、実施



NAO-6 J (タジマモーター)

※空調付き



乗車定員：6人
(利用者定員4人で運行)
全長：4,050mm
全幅：1,500mm
全高：2,300mm
最小回転半径：3.6m

計 290人

eCOM-4 (シンクトゥギャザー)

※車椅子乗車可



乗車定員：7人
(利用者定員6人で運行)
全長：3,630mm
全幅：1,640mm
全高：1,995mm
最小回転半径：4.0m

計 284人



上野恩賜公園内



都道452号線



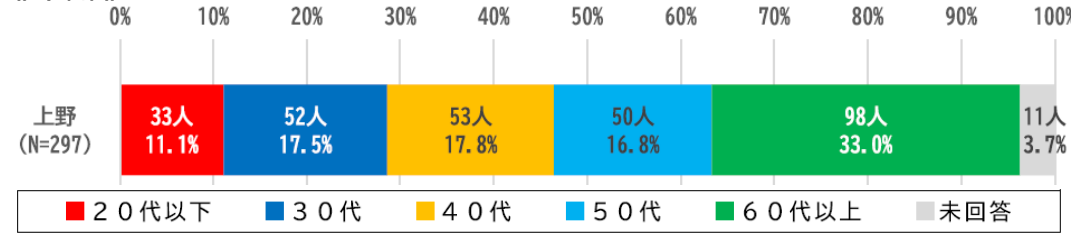
都道452号線(まちづくりイベント時)

④ 上野ウォーカーブルまちづくりに係る取組

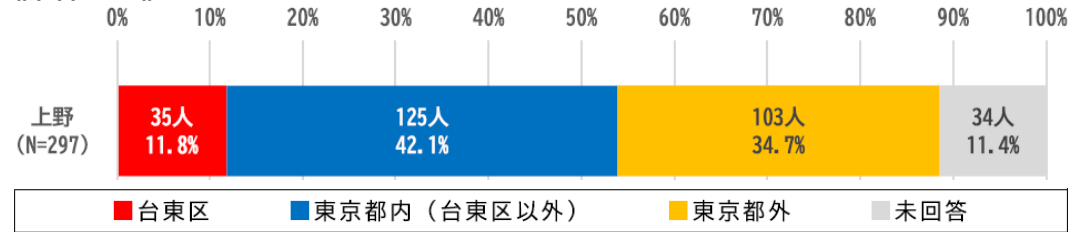
短期施策3. 上野公園北部エリア

二次交通実証実験

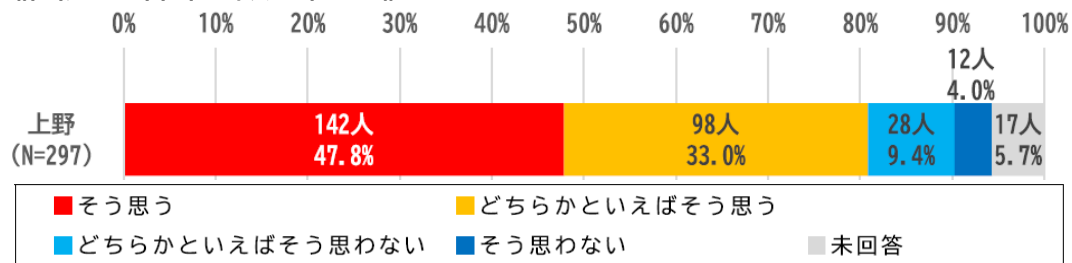
《年齢》



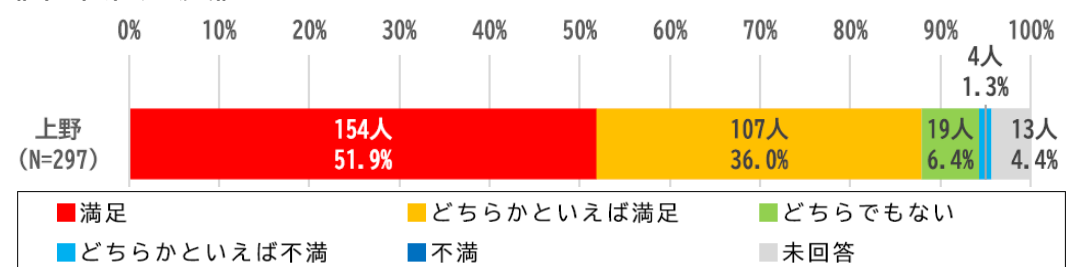
《居住地》



《回遊・外出意欲の向上》

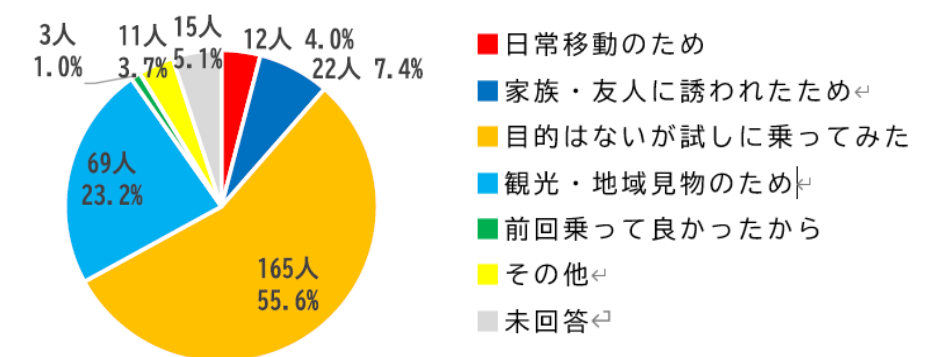


《乗車満足度》

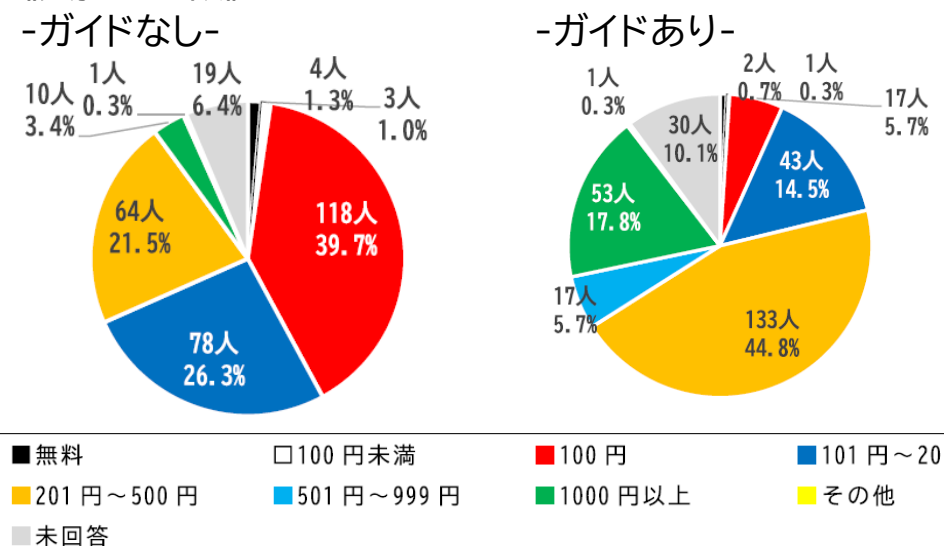


- 乗車満足度は、9割程度と高く、また地域の利便性・魅力向上に資する可能性があることを確認できた。
- 公道での走行含め、事故や大きな渋滞の発生はなく、近隣交通への影響は極めて少ないことなど、一定の安全走行性の確認ができた。
- 一部乗降場において、乗車待機などしていたが、定員超過となるため、乗車できない例が幾度かあった。
- 有料の場合の支払意思額などについて一定の確認を行ったが、事業性については、今後更なる検討を要する。
- 今後は、本実証実験の詳細分析等を踏まえ新たな交通手段の導入に向けた検討を深度化し、多様なニーズに応じた交通手段の充実を図る

《乗車理由・きっかけ》



《支払意思額》



④ 上野ウォーカーブルまちづくりに係る取組

短期施策4. アートクロス整備

上野文化の杜新構想実行委員会から東京都建設局に対して提出された整備提案書をもとに、東京都(東部公園緑地事務所)にて工事

- アートクロスの空間イメージ ①歴史的な建造物が映える空間、②ひろがりを感じられる空間、③ひろばのイメージにマイナスな要素への工夫
- アートクロスの活用イメージ 平時は「憩い・滞留」
- 今後は、管理者(東部公園緑地事務所)等と意見交換しながら、アートクロスのあり方及びマネジメントの仕組みを検討する



令和6年12月時点の様子

④ 上野ウォーカーブルまちづくりに係る取組

シタマチ. ハロウィン2024 @ 袴腰広場

令和6年10月25日(金)～10月27日(日)
各日9:00～21:00

商店街をめぐる「トリックオアアート」や「仮装コンテスト」のほか、上野公園内の袴腰広場を活用した店舗設置など賑わいの創出が行われた

- フードテント・テーブル・椅子等の設置による賑わいや滞留空間の創出
- 仮設ステージによるパフォーマンスの開催

その他 パブリックスペース等における取組

主 催:上野中央通り商店会/ジュエリータウンおかちまち

協 力:アメ横商店街連合会/湯島白梅商店会/御徒町駅南口商店会/上野二丁目仲町通り商店会

協 賛:松坂屋上野店/上野マルイ/アトレ上野/エキュート上野

/PARCO_ya/UENO3153/摩利支天 徳大寺/朝日信用金庫/上野観光連盟

後 援:台東区 SPECIAL THANKS:日本たばこ産業 株式会社



会場エントランス



樹木周りで人々が滞留する様子



仮設ステージ前の賑わい



フードテントと滞留空間

④ 上野ウォーカーブルまちづくりに係る取組

その他 パブリックスペース等における取組

「しのばずナイトテラス」JAZZ & BEER@ 不忍通り

令和6年8月2日(金)・8月3日(土)
開催時間:16:00~21:00

主催:池之端仲町商店会/上野元黒門町会/しのばずいけまち研究会
協力:公益財団法人 台東区文化芸術財団、
東京大学大学院都市デザイン研究室
後援:台東区



不忍通り・三角広場にて三角広場のほこみち指定に向けた「不忍通りほこみち社会実験」

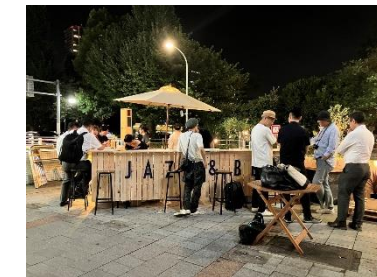
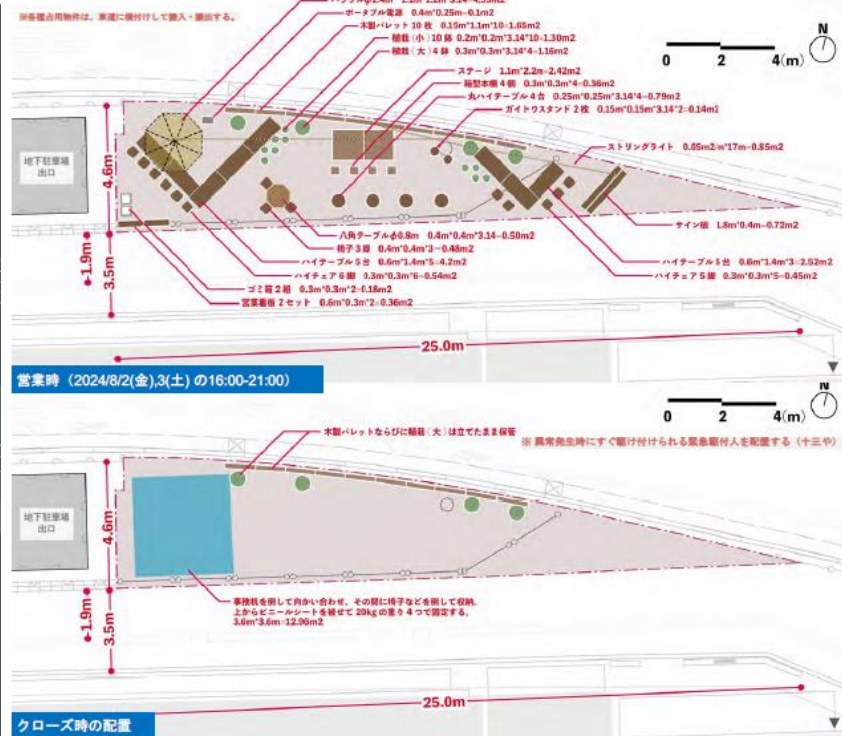
- 歩道上の一部に滞留を促す施設やカウンターバー、演奏ミニステージを設置
- 近隣の水上音楽堂で行われたジャズイベントと連携した場づくり

しのばずナイトテラス2024
JAZZ & BEER
2024.8.2(金)・3(土) 16:00-21:00
場所:不忍通り路上(十三や商店・伊豆屋本店前)
雨天・悪天候は中止となります | 都ら管理の道路占用・使用許可を仰ぐ願います

「しのばずナイトテラス2024 JAZZ & BEER」は、不忍通りの歩行者利便増進道路(通称ほこみち)指定を目指す社会実験です。

会場MAP/ 不忍池のほとりの三角広場が、2日間限りで「ホコミチ」に。
8/3は水上音楽堂・仲町通り・三角広場の3拠点でジャズの音楽を楽しめます。
三角広場では、ジャズステージや飲食販売、植物、本で上野の夜を彩ります。

主催 上野元黒門町会 池之端仲町商店会 しのばずいけまち研究会 協賛 東京大学大学院都市デザイン研究室 後援 台東区



道路活用に係る検証(●)

- 2日間常設したビアバーに関しては特に交通上の支障になるような事態は見られなかった。
- ジャズに関しては演奏開始直後、一時的に三角広場からはみ出るほどの来場があった。すぐに誘導員による対応を行い、交通の流動性が阻害される状況には至らなかった。
- 歩道脇エリアのテーブルで散見された利用・滞留は三角広場と関係ない客層であったが、景観上にぎわいの連続性は創出され、特に交通上の支障にもなるものではなかった。

社会実験に対する反響・効果(○)

- 2日間で400名を超える来場があり、3回の社会実験で最も集客があり、出店者の満足度も高く、十分にぎわいが創出された。
- 80を超えるアンケートを回収し、継続的な活用について前向きな意見・回答が並んだ。
- リニアで温かみのある空間デザインが好評で、占用範囲への入りやすさも高まった。
- 一時的にせよ占用範囲からはみ出しが発生した場合に備え、パイロンやロープ等空間的に即座に対応できる準備が今後必要である。

④ 上野ウォーカーブルまちづくりに係る取組

その他 パブリックスペース等における取組

不忍池ブックカフェ2024

「池のほとりの本のみち」@ 不忍通り

令和6年10月19日(土)・10月20日(日)

土:14:00~20:00 日:10:00~18:00

主 催:池之端仲町商店会/上野元黒門町会/しのぼずいけまち研究会

協 力:東京大学大学院都市デザイン研究室

後 援:台東区

不忍池・不忍通り一体プレイスメイキング実験として、池とまちの接点部分において、居場所づくりやブックカフェ屋台等による魅力づくりが行われた。

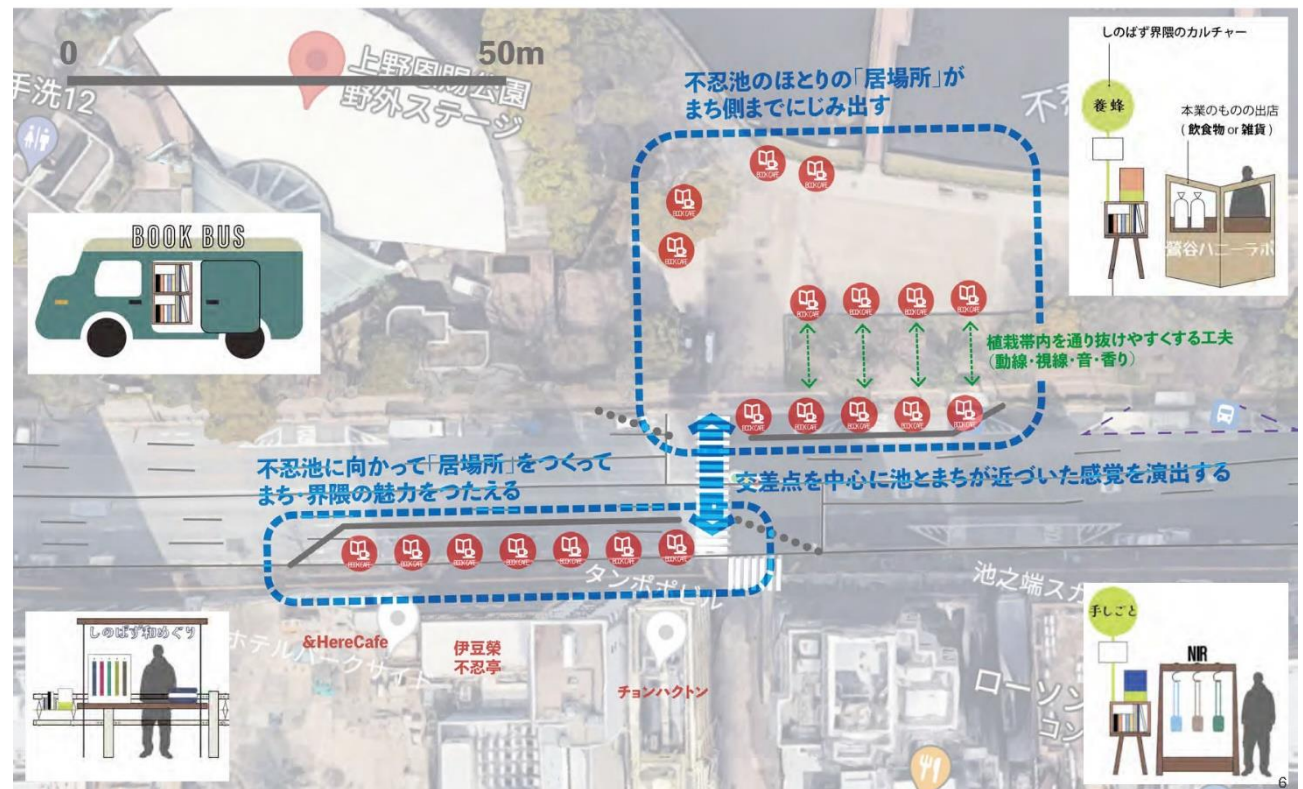
- ・ 不忍通りの沿道や公園南側の一部を活用した、本コーナーや滞留空間など居場所づくりなど
- ・ 文学・自然・芸術・伝統工芸など、不忍界隈のまちの文化を再発見できるコンテンツをもったブックカフェ屋台の出典など



当日の様子

約20のブックカフェ屋台を、いけ・みち・まちを横断して展開する。

ブックカフェ屋台=書籍+ドリンク販売+物販+滞留で構成される、それぞれがテーマを持った屋台



当日設えのレイアウト

④ 上野ウォーカーブルまちづくりに係る取組

その他 パブリックスペース等における取組

Peace of Light @ 水上音楽堂

令和6年10月26日(土)～10月27日(日)
各日12:00～22:00

主 催:一般社団法人上野観光連盟

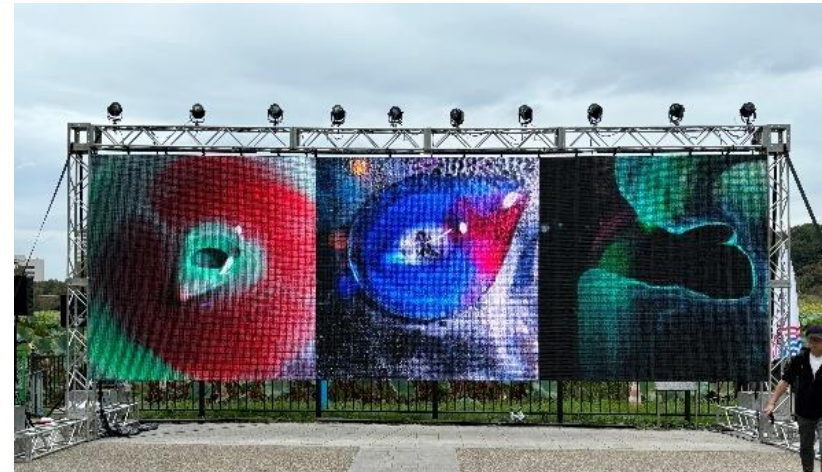
後 援:台東区、J-WAVE

不忍池の南側の公園一部を活用することで池とまちの回遊性向上及びオープンスペースのにぎわい創出を目指すため現代美術・音楽アートの演出が行われた。

- 池のほとりに映像作品「融解の水景」の展示やアーティストによる音楽ライブパフォーマンスの上演
- 公園内にキッチンカーの出店及びテーブル・椅子の設置
- 光による不忍池周りの幻想的な演出



会場エントランス



映像作品「融解の水景」の展示



キッチンカー等による賑わい(夜間)



キッチンカー等による賑わい(昼間)

④ 上野ウォーカーブルまちづくりに係る取組

その他 パブリックスペース等における取組

まちなかアートペイント @ 東上野4丁目駐車場 ～ダンボールアートでみらいの電車・みらいの上野をつくろう～

主 催:東京メトロ

令和6年10月27日(日) 11:00～17:00

普段に駐車場とされている東上野四丁目の一部空地を利用し、まちのにぎわい創出を目指してダンボールアートとオープンカフェを実施した。

- 芸術アトリエと連携し、一部の駐車場空間をダンボールアートスペースとして利用
- キッチンカーの出店や人工芝生の敷設で滞留空間を創出



段ボールアートが実施されたテント



段ボールアートの様子



キッチンカーと人工芝による滞留空間



キッチンカーと人工芝による滞留空間

一元的情報発信『歩きたくなる、居心地がよい、上野を巡る。』2024.10

10
2024
Autumn

うえの

ウォーカーブルまちづくり

歩きたくなる、居心地がよい、上野を巡る。

上野地区全体の魅力向上を目指し、道路や公園などパブリックスペース等を活用したイベントが行われます


杜とまちをつなぐ
駅とまちをつなぐ
池とまちをつなぐ



ueno杜まちふりり
デジタルスタンプラリー
「対象ラリー」に参加しよう!!



多彩な取組が行われる10月。
お気軽にお立ち寄りください!!!

【発行】  台東区 都市づくり部地域整備第一課

各イベントの
詳細は裏面へ

うえのウォーカーブルまちづくり2024.10

杜とまちをつなぐ、駅とまちをつなぐ、池とまちをつなぐ

1 シタマチ、ハロウィン2024

商店街を巡る「トリックオアトリート」や「仮装コンテスト」、
「デジタルスタンプラリー」等数多くの企画が特設広場を中心に展開




10/1(火)-31(木)
ハロウィン屋台村:25(金)-27(日)11:00-21:00
トリックオアトリート:26(土) 仮装の受付12:00-15:00
お菓子配布12:00-17:00
主催:上野中央通り商店会、ジュエリータウンおかちまち
場所:特設広場(京成上野駅上)ほか

2 不忍池ブックカフェ2024『池のほとりの本のみち』

～不忍通りを介して池とまちを繋ぐ～
公園・植栽・道路にまたがって「ブックカフェ屋台」が出現



10/19(土) 14:00-20:00
20(日) 10:00-18:00 SNS HP
主催:池之端仲町商店会
主催:上野元黒門町会、しのばずいけまち研究会
場所:不忍池南側、不忍通り

3 Peace of Light

～上野公園の不忍池が光のアートに彩られる2日間～
「光のライブ」・「J-WAVE presents INSPIRE TOKYO の飲食」



10/25(金)-27(日)
J-WAVE presents INSPIRE TOKYO 飲食:25(金)-27(日)12:00-21:00
アートインスタレーション:26(土)-27(日) 12:00-22:00
ライブパフォーマンス:26(土) 17:30-20:00
主催:一般社団法人上野観光連盟
場所:上野公園不忍池(遠見テラス前、水上音楽堂外ステージ、吹抜横丁)

4 パンダバシピクニック2024 Autumn

～モリとマチとエキがつながるのんびり空間を演出～
パンダ橋に並ぶ大人も子どもも楽しめるショップや体験コーナー



10/26(土) 12:00-19:00
27(日) 12:00-18:00 詳細 HP
主催:JR東日本
共催:台東区、JR東日本クロスステーション
場所:パンダ橋

5 上野広小路ヒロバ化社会実験

～上野の「えき」と「まち」をつなぐ～
道路のマーケット化により「歩きたくなる・居たくなる」空間を演出



10/27(日) 14:00-20:00 SNS HP
主催:上野まちづくり協議会
共催:台東区
場所:中央通り(JR上野駅広小路口前・不忍口前)

6 まちなかアートイベント

ダンボールアートでみらいの電車・みらいの上野をつくらう

子どもの感性を育む参加型ダンボールアートイベントと
居場所づくりによりまちの活性化を図る試み



10/27(日) 11:00-17:00 アトリエヤマガ SNS
主催:東京メトロ
運営:アトリエヤマガ
場所:東上野駅西四丁目駐車場
(ファミリーマート東上野西四丁目店の裏)
※絵具を使用しますので、汚れてもよい服装でお越しください。

各イベントの詳細については、各イベントの主催者までお問合せください。

⑤ 上野地区景観形成ガイドラインの概要

『上野地区景観形成ガイドライン概要版(案)』

※この資料は令和6年12月～令和7年1月に実施したパブリックコメント資料より抜粋

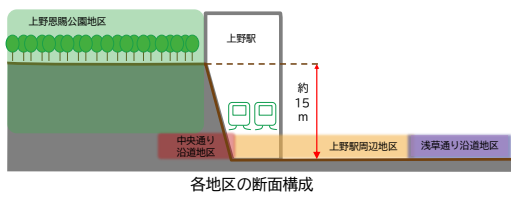
1 策定の目的と構成

- 上野地区景観形成ガイドラインは、当地区に集積する多様で特色ある資源を活かし、地域特性に応じた景観を形成するため、台東区景観計画や上野地区まちづくりビジョンなどの当地区に関連する上位関連計画と整合を図り、新たな指針を示すものです。
- 本ガイドラインに基づき、地区内の建築計画やデザイン検討などのまちづくりを進めることで、区と地域住民、事業者などがその考え方を共有し、上野にふさわしい景観を形成することを目的とします。

ガイドラインの構成	使い方
1. はじめに	ガイドラインの役割や使い方を知る
2. 上野地区の現状	上野地区の景観を考える上での基本的な情報を知る
3. 上野地区の景観誘導	上野地区の景観誘導の考え方を理解する
4. 地区別ガイドライン	地区ごとの景観形成の考え方や配慮すべき事項を理解する
5. ガイドラインの運用	建築行為などの際の協議時期と流れを確認する

2 地区区分

- 上野地区のうち、右記の4地区における配慮事項を定めます。
- その他、隣接する商業集積エリアについては、地域主体のルールづくりなどの機運を踏まえたルール作成や仕組みづくりなどの支援を行い、地域特性に応じた景観形成を図ります。



上野恩賜公園地区と上野駅周辺・浅草通り沿道・中央通り沿道地区には地盤面の高低差が約15m存在します。

3 眺望点からの景観

- 上野地区には、国立西洋美術館前や西郷像前・上野駅前広場の主要な眺望点があり、その地点ごとに眺望の対象や配慮事項が異なります。



4 上野恩賜公園地区(景観配慮事項)

- 上野恩賜公園周辺の歴史・文化・緑の資源を保全・活用し、潤いのある景観を形成する。
- 上野恩賜公園と周辺地域をつなぐエリアは、連続性や象徴性を高める景観を形成する。
- シンボルとなる景観資源を活かし、昼夜を問わず上野恩賜公園の景色を眺め楽しみながら回遊できる魅力ある景観を形成する。

〈主な景観配慮事項〉

- 共通**
 - ・緑や水と一体となった、居心地がよく潤いのある景観を形成する。
 - ・上野恩賜公園周辺の歴史資源や文化・芸術資源を活かした風格のある景観を形成する。
- 建築物・工作物**
 - ・文化・芸術の創造発信拠点にふさわしい質の高い景観を形成する。
- パブリックスペース等**
 - ・「文化の杜」の賑わい向上や、昼夜を問わず周辺との回遊性を高める景観を形成する。
- 屋外広告物**
 - ・上野恩賜公園周辺の美術館・博物館などの景観との調和を図る。



⑤ 上野地区景観形成ガイドラインの概要

『上野地区景観形成ガイドライン概要版(案)』

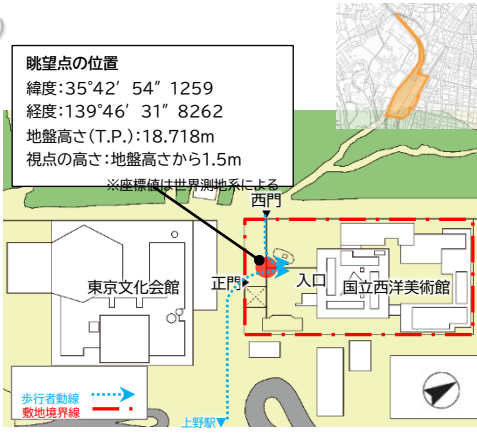
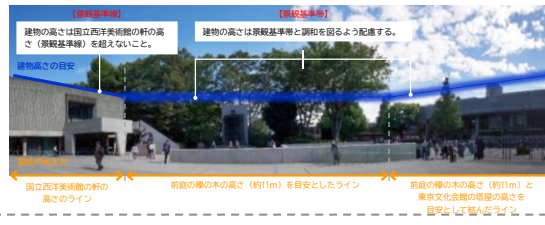
※この資料は令和6年12月～令和7年1月に実施したパブリックコメント資料より抜粋

5 上野駅周辺地区(建物高さのルール)

- 国立西洋美術館前に設定した眺望点からの見え方に配慮する。
- 眺望点から東側方面を望んだ際に見える上野駅周辺地区内の建物全てを、高さに配慮すべき対象とします。

【眺望点の設定】
 正門と西門からの来館者の動線が交わる点であり、西門から延びる黒目地と本館入口から延びる黒目地が接するポイントを眺望点として設定する。国立西洋美術館は創建時、西門が正門として設計されており、そこから東へ向かい、途中で北へ直角に曲がる黒い目地が、国立西洋美術館本館入口へと続いていた。2022年には、その創建時の設計意図を踏まえた改修が完了している。

【配慮事項】
 景観基準線を超えないよう建築物の高さや工作物などの配置に配慮する。また、景観基準帯と調和を図るよう配慮する。



7 上野駅周辺地区(景観配慮事項)

【主な景観配慮事項】
 国立西洋美術館前の眺望点から見て、視認可能な高層部、視認されない高層部、低層部の三つに分類します。

視認可能な高層部	視認されない高層部	低層部
建築物・工作物 ・立面の圧迫感や存在感を軽減したファサードデザインや素材選定に配慮する。 ・背景の空に溶け込むような色彩を選択し、極力存在感を抑えるよう配慮する。 屋外広告物 ・世界文化遺産である国立西洋美術館前庭からの見え方に配慮する。	建築物・工作物 ・日本の玄関口にふさわしい、風格・社とまちの回遊性を高めるため、快く感じられる景観の形成に向け、適度活気のある歩行者空間を形成する。上野駅を意識した秩序や落ち着きとともに、賑わいと潤いの連続性のあるデザインとする。 屋外広告物 ・周辺の景観特性と調和し、秩序や風格のある広告景観を形成する。	建築物・工作物 ・適度活気のある歩行者空間を形成するとともに、賑わいと潤いの連続性に配慮した景観を形成する。 屋外広告物 ・周辺の景観特性と調和し、秩序や風格のある広告景観を形成するとともに、周辺の商業エリアとの賑わいの連続性に配慮する。



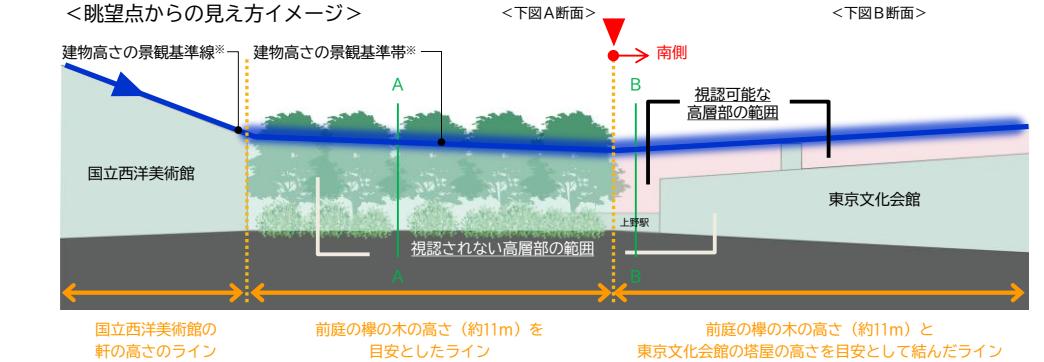
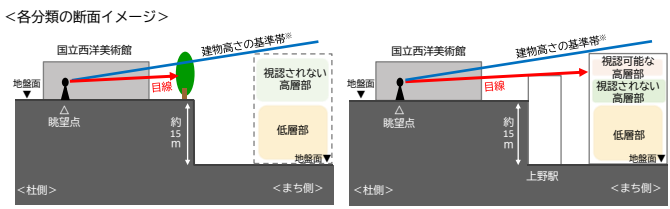
背景の空と調和した建物ファサード



屋外から賑わいが感じられるオープンスペース

6 上野駅周辺地区(分類)

- 上野駅周辺地区における景観誘導にあたり、国立西洋美術館前の眺望点から見て、視認可能な高層部、視認されない高層部、低層部の三つに分類します。



8 屋外広告物の表示・掲出のルール

- 屋外広告物の表示・掲出については、台東区景観計画における景観形成特別地区の位置づけを踏まえ、世界文化遺産である国立西洋美術館前庭や上野駅前広場等からの見え方に配慮する。
- 文化財庭園など貴重な文化遺産を保存・継承するため、国立西洋美術館前庭の周辺において良好な景観を形成し、前庭からの眺望を保全する。
- 上野地区の景観特性や個性的な景観と調和し、歴史的・文化施設、玄関口としての上野駅等のシンボル性を確保するような広告景観を形成する。



＜国立西洋美術館前庭から見える屋外広告物の表示等の制限に関する事項＞

制限の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高さ15m以上の部分が制限の範囲となる。(範囲は右上図①のとおり) ・ 自家用広告物(自社名、ビル名、店名、商標の表示など)、公共公益目的及び非常利目的の広告物に限り、下記対象区分の基準に従い表示することができる。
対象区分と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋上広告物: 高さ15m以上において表示・設置しないよう配慮する。 ・ 壁面広告物: 高さ15m以上において光源を使用しないよう配慮する。 ・ 壁面広告物を高さ15m以上に掲出する場合は低彩度とし、一広告物表示面積の1/3を超えて使用できる彩度は右記のとおり。
表示等の制限の例外	<ul style="list-style-type: none"> ・ ただし、高さ15m以上であっても、他の建築物などにより視認できないなど、国立西洋美術館前庭から見えないれば表示できる。

＜上野駅前広場等から見える屋外広告物の表示等にて配慮する事項 (範囲は右上図②のとおり)＞

<ul style="list-style-type: none"> ・ 基調色は、低彩度とする、建物の外観と同系色とするなど、過剰にならないよう配慮する。 ・ 高彩度のコーポレートカラーの使用は最小限とすることや、彩度を落とすなど、周辺景観との調和を図る。 ・ 映像広告は建物上部への設置を極力避け、建物と一体的にデザインするなど、まち並み景観を損ねないものとする。 	<table border="1"> <tr> <th>【色相】</th> <th>【彩度】</th> </tr> <tr> <td>0.1R ~ 5Y</td> <td>10R → 5以下</td> </tr> <tr> <td>0.1YR ~ 10G</td> <td>5Y → 6以下</td> </tr> <tr> <td>5.1Y ~ 10G</td> <td>10G → 4以下</td> </tr> <tr> <td>0.1B ~ 10B</td> <td>10B → 3以下</td> </tr> <tr> <td>0.1PB ~ 10RP</td> <td>10RP → 4以下</td> </tr> </table>	【色相】	【彩度】	0.1R ~ 5Y	10R → 5以下	0.1YR ~ 10G	5Y → 6以下	5.1Y ~ 10G	10G → 4以下	0.1B ~ 10B	10B → 3以下	0.1PB ~ 10RP	10RP → 4以下
【色相】	【彩度】												
0.1R ~ 5Y	10R → 5以下												
0.1YR ~ 10G	5Y → 6以下												
5.1Y ~ 10G	10G → 4以下												
0.1B ~ 10B	10B → 3以下												
0.1PB ~ 10RP	10RP → 4以下												

⑤ 上野地区景観形成ガイドラインの概要

『上野地区景観形成ガイドライン概要版(案)』

※この資料は令和6年12月～令和7年1月に実施したパブリックコメント資料より抜粋

9 浅草通り沿道地区(景観配慮事項)

- 上野と浅草や周辺地域を結び骨格となる景観軸として、賑わいと風格のある沿道景観を形成するとともに、通りとして一体感のある良好な景観を形成する。
- 上野駅近傍では、上野と浅草を結びエントランスにふさわしい広場空間を創出する。
- 沿道建築物の壁面後退やオープンスペースの創出などにより、開放的で快適な沿道景観を形成する。

(主な景観配慮事項)

共通
 ・上野と浅草や周辺地域を結び景観軸として、歩いて楽しい賑わいのある景観を形成するとともに、風格や潤いのある沿道のまち並み景観を形成する。

建築物・工作物
 ・建物低層部は、ヒューマンスケールが感じられるデザインや安らぎを感じられる素材の選定に配慮する。

パブリックスペース等
 ・上野駅近傍では、上野と浅草を結びエントランスにふさわしい広場空間を創出し、人々のアクティビティによる賑わいや活気ある景観を形成する。

屋外広告物
 ・寺社や歴史資源、老舗の点在などによるまち並みの表情と協調した広告景観を形成する。



神仏具店が並ぶ浅草通り沿道



賑わいや活気ある広場空間

11 景観配慮によって形成される都市景観イメージ

- 圧迫感や存在感を抑えた色彩や、落ち着きと風格のあるファサードデザインにより、上野地区のまち並みと調和する景観が形成されます。
- 建物低層部からまちの活気やアクティビティが沿道空間に広がり、歩いて楽しい賑わいのあるまち並みが形成されます。
- まちなかの緑あふれるパブリックスペースでは、アートや音楽イベントなどの開催により、上野地区を特徴づける固有の景観が形成されます。



公共空間と周辺建築に囲まれた賑わい広場



連続する緑とまちの活気広がる沿道空間



人々が集い賑わう、まちなかのパブリックスペース

10 中央通り沿道地区(景観配慮事項)

- 上野恩賜公園とまちをつなぐ都市軸として、賑わいと風格のある沿道景観を形成する。
- アイ・ストップとなる上野の森を意識した一体感のある景観を形成する。
- エリア特性を踏まえたルールづくりによる公民連携が図られた景観を形成する。

(主な景観配慮事項)

共通
 ・上野の森への眺めに配慮した良好な景観を形成するとともに、上野恩賜公園からの眺めにも配慮した、通りとして一体感のある景観を形成する。

建築物・工作物
 ・アイストップとなる主要な街角は、沿道からの誘引を意識した、通りの魅力を高める景観を形成する。

パブリックスペース等
 ・積み重ねた歴史が息づく景観形成と賑わいのルールづくりによる沿道の魅力向上を図る。

屋外広告物
 ・上野の目抜き通りにふさわしい魅力ある広告景観を形成する。



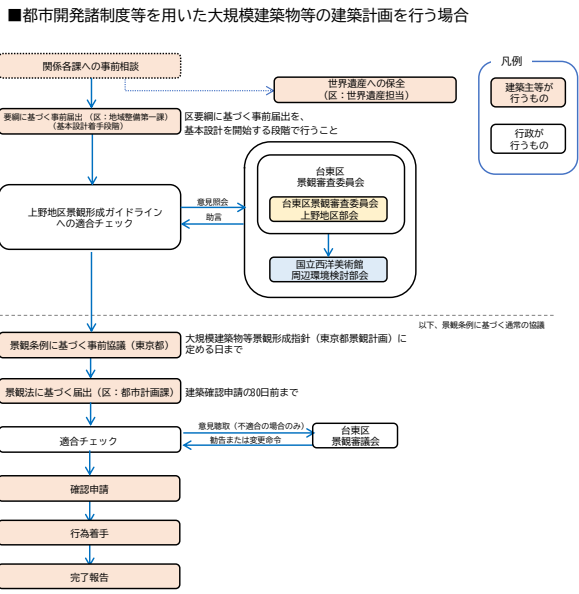
中央通りから上野恩賜公園を望む



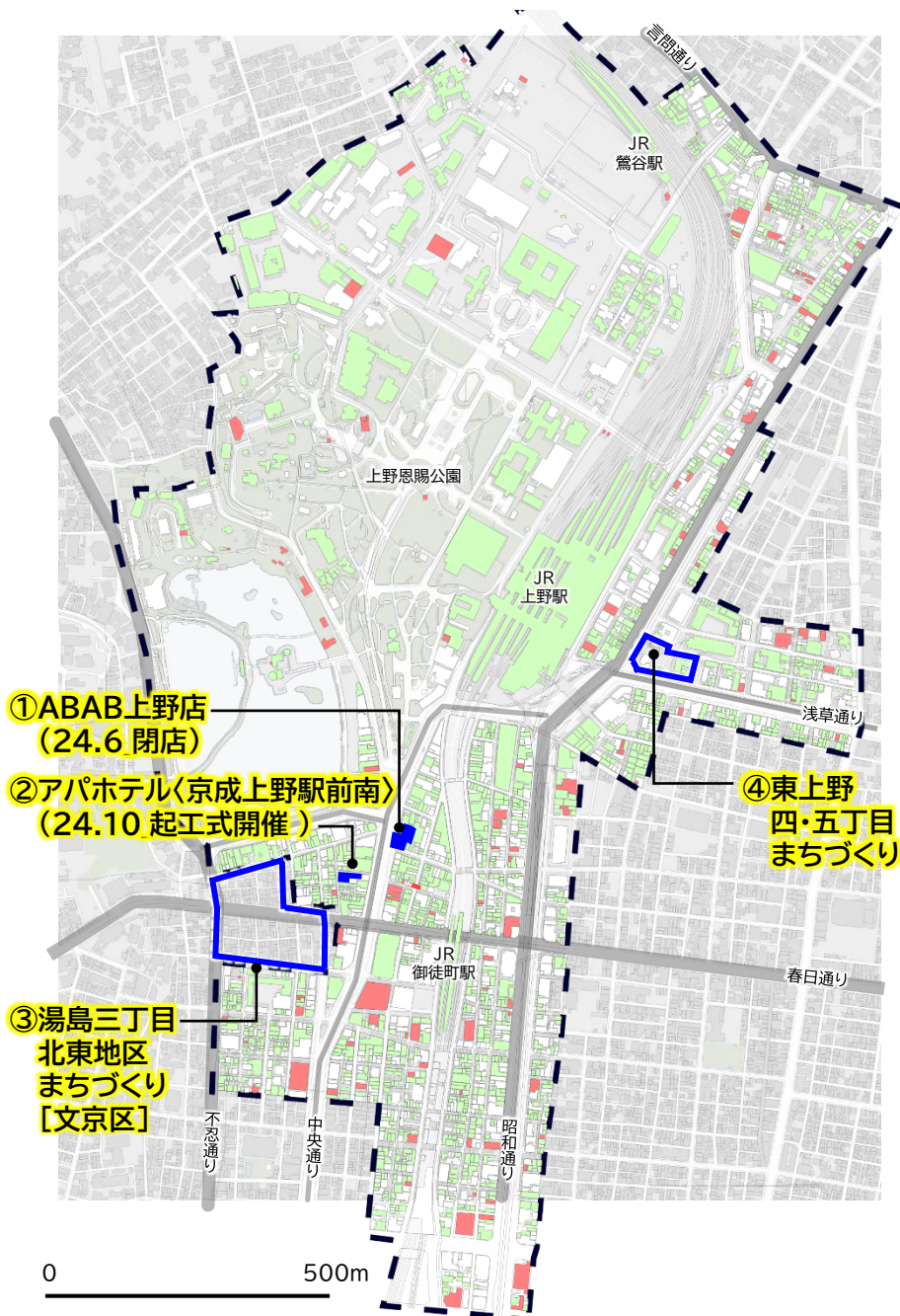
公民連携によるパブリックスペースの活用

12 運用の体制

- 上野恩賜公園地区及び上野駅周辺地区における都市開発諸制度等を用いた大規模建築物等の建築計画を行う場合は、台東区要綱に基づき、基本設計着手段階より事前届出を行います。
- 台東区景観審査委員会内に「上野地区部会」を設置し、各分野の専門家に意見照会を行いながら、台東区景観審査委員会において、内容の確認を行います。
- その協議結果は、国立西洋美術館周辺環境検討部会に報告し、遺産影響評価に際し参照します。
- 関係機関との協議が整い次第、既存の景観協議システムである景観条例に基づく事前協議に移行します。
- その他、上記以外の建築物の新築や工作物の新設等を行う場合は、台東区景観条例に基づく協議を実施します。



⑥ 上野地区における再開発等



出典:令和3年度台東区基礎調査[築年数]を加工のうえ作成

商業施設の閉店

1 ABAB上野店閉店(1945年開業、2024年閉店)

2024年6月30日、商業施設運営のアブアブ赤札堂は、建物の老朽化で耐震化などの措置が必要になるためABAB上野店を閉店した。開業は戦後すぐの1945年で、当初は赤札堂だったが70年には業態転換して若者向けファッション中心のアブアブになった。建物はRC造、地下1階、地上7階の8フロア構成。跡地の活用方法は未定。

出典:日本経済新聞

宿泊施設の建設

2 アパホテル〈京成上野駅前南〉(2024年起工式、2026年開業予定)

2024年10月、アパグループはアパホテル〈京成上野駅前南〉の計画地において起工式を執り行った。本計画地は、「上野」駅から「上野広小路」駅につながる中央通り沿いに面し、オフィス街や観光名所の「上野恩賜公園」や「アメヤ横丁」も近く、ビジネスのみならず、国内レジャー、インバウンド、イベント需要など幅広い宿泊需要が見込めるとしている。台東区において18棟目になる本施設は、14階建・339室・大浴場・露天風呂付、2026年8月に開業を予定している。

出典:アパホテル プレスリリース

凡例

- 築年数45年以上の建物
- 2016~2024年頃に建築された建物
- 開発予定又は開発可能性、機能更新の可能性がある建物
- 開発予定のある街区

⑥ 上野地区における再開発等

再開発等

3 湯島三丁目北東地区 [文京区]

文京区は、湯島三丁目北東地区で市街地再開発を含めたまちづくりを検討している。地域の特色を生かしたまちづくりの推進を図るため、区が事務局となる「湯島三丁目北東地区まちづくり基本方針検討会」を設置し、2025年度中に基本方針を策定する予定。

《 検討会の開催テーマ (予定) 》

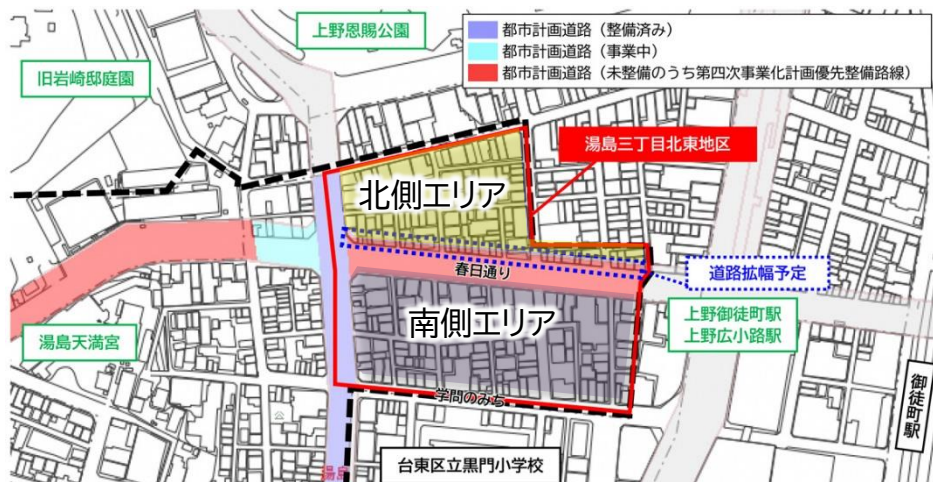
R6.9.19	第1回 まちの特性と課題を知る
本日	第2回 まちの将来像を共有する
R7年度	第3回 まちづくり基本方針の内容を確認する
R7年度	第4回 実現に向けたまちづくりの手法を考える
R7年度	第5回 まちづくり基本方針策定に向けた最終確認

気になる点があれば、お手元の意見交換シートに記入してください。

「湯島三丁目北東地区まちづくり基本方針」策定
(策定前にパネル型の説明会を実施予定)

地区の中央を通る春日通りは、都市計画道路の優先整備路線となっており、道路幅員を北側に約5m拡幅する予定となっている。

なお、地区の北側エリアでは地域が主体となった協議会が発足しており、地区の課題解決に向けた具体的なまちづくり・整備に向けて、協議会が取りまとめた「湯島三丁目地区まちづくりの考え方」が示されている。



出典:第2回湯島三丁目北東地区まちづくり基本方針検討会資料を一部加筆し作成

湯島三丁目北東地区全体及びまちづくりの進捗が異なる北側・南側エリアの現況を踏まえ、以下のようなまちの将来構造を考えている。

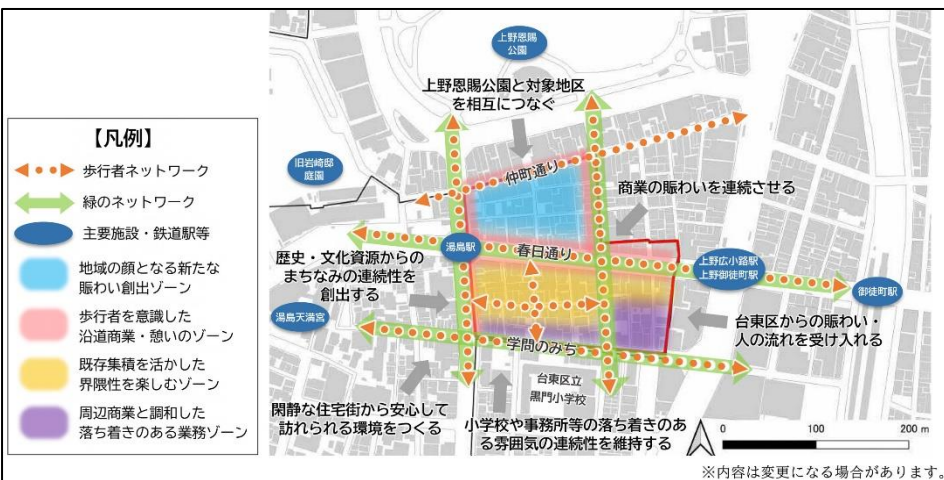
地区内のネットワークだけでなく、隣接する資源や台東区とのつながり・御徒町駅周辺等との連続性を意識したまちづくりを推進する。

《 まちづくりの目標 (案) 》

多様な文化が色づく、 歩いて楽しい賑わいのあるまち

《 まちづくりの基本方針 (将来の姿) (案) 》

- 基本方針1** 新たな魅力を生み出すまちづくり
- 基本方針2** 多様な世代や目的の人々が集うまちづくり
- 基本方針3** 環境に配慮した、持続可能なまちづくり
- 基本方針4** 都市活動が継続できる、災害対応力の高いまちづくり



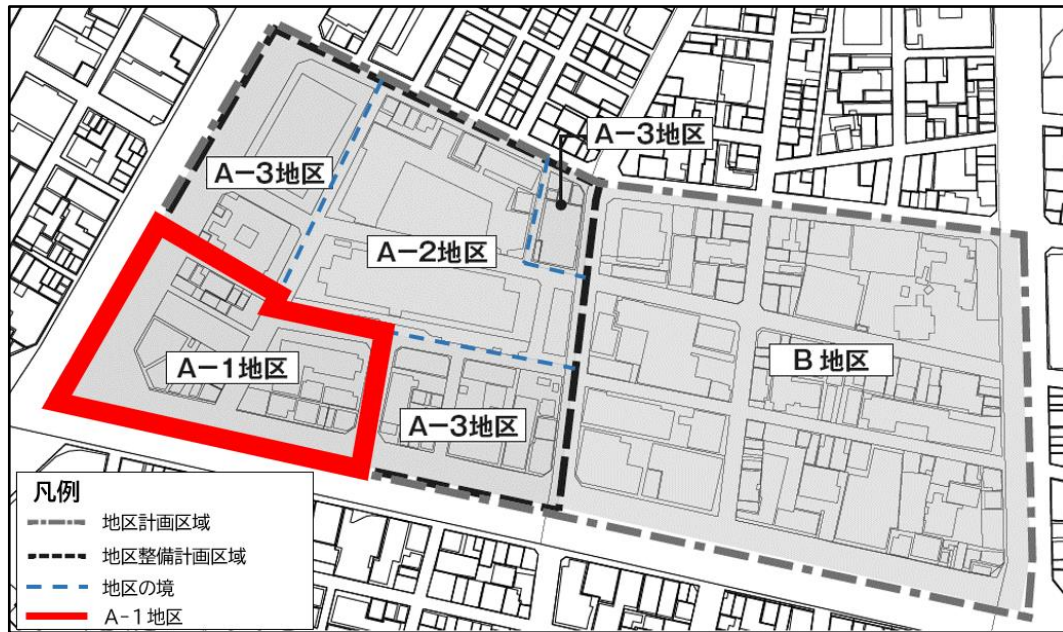
出典:第2回湯島三丁目北東地区まちづくり基本方針検討会資料

⑥ 上野地区における再開発等

再開発等

4 東上野四・五丁目地区まちづくり

1 東上野四・五丁目地区のまちづくりについては、本地区のまちづくりの推進に向け、平成30年から「まちづくり勉強会」を重ねてきた。(勉強会16回、視察会2回、相談会3回)
これまでの勉強会等を通じて、地権者の将来のまちづくりに向けた機運が高まり、令和6年3月26日に再開発準備組合が設立された。
現在、その再開発準備組合にて、施設計画や都市計画等の検討を進めている。



東上野四・五丁目地区地区計画パンフレットを加工して掲載

再開発準備組合の概要

名称	東上野四丁目A-1地区再開発準備組合
対象地区	A-1地区(東上野四丁目2番・3番)
事業協力者	東京地下鉄株式会社、株式会社大林組

2 土地区画整理事業について

土地の有効利用、公共施設の再編及び区画道路の整備を図るため、令和4年度より上野警察署との土地の入れ換えに向けた土地区画整理事業に着手している。

